

7月市長定例記者発表要旨

と き 平成26年7月2日（水） 11時～12時

ところ 庁議室

1 「海の日記念事業」の実施について

7月20日（日）及び21日（月・海の日）の2日間、「海の日記念事業」が次のとおり行われます。

（1）佐伯海の日記念式典（20日）

はじめに、「佐伯海の日記念事業実施協議会」主催の記念式典が、7月20日（日）、12時30分から13時まで、大手町の三余館、2階大会議室で行われます。

この式典の中で、海と深く関わり、様々な分野で尽力された方々の功績をたたえ、国土交通大臣表彰、第七管区海上保安本部長表彰、大分海上保安部長表彰及び漁業関係功労者表彰の各表彰式を行います。

（2）海の日記念行事及び講演会（20日）

次に、同じく7月20日、13時から、場所を三余館1階のホールに移し、「海事振興連盟」主催の海の日記念行事及び講演会が行われます。

①第一部：「佐伯市海洋少年団」結団式及び団旗授与式（13時～13時25分）

第一部は、「佐伯市海洋少年団」結団式及び団旗授与式です。

海洋少年団とは、小学生から高校生までの男女の団員が、海を訓練の場として子どもの時から海に親しみ、団体生活を通して心身ともに健康でたくましい人間の育成を目指すことを目的とした社会教育団体です。佐伯市では、およそ35年ぶりの結成となると聞いております。

②第二部：記念式典（13時30分～13時55分）

第二部の式典では、海事振興連盟会長の衛藤征士郎代議士及び来賓の式辞などがあります。

③第三部：海の日記念講演～若者に海への夢を（14時～15時50分）

第三部は、2人の講師による「海の日記念講演」です。

まず、14時から14時50分までは、海洋冒険家でヨットレーサーでもある白石康次郎しらいしこうじろうさんの講演があります。

白石さんは、1994年、26歳でヨットによる単独・無寄港・無補給世界一周の史上最年少記録を樹立したほか、2008年には、ヨットでの太平洋横断最速記録を更新するなど、世界的な海洋冒険家として知られています。

また、15時から15時50分までは、東海大学海洋学部教授の山田吉彦やまだよしひこさんの講演があり

ます。

山田さんは、銀行勤務を経て、1991年から日本財団に勤務し、海洋船舶部長、海洋グループ長などを歴任されています。「沖ノ鳥島・民間調査団」事務局長、沖縄県の「竹富町^{たけとみちょう}海洋基本計画」や「石垣市海洋基本計画」の策定委員長を務めるなど、海洋問題に造詣^{ぞうげい}の深い方です。

こういった方々のお話は、なかなか聞けるものではありませんので、ぜひ、多くの皆様にご来場いただきたいと思います。

(3) 「サマーフェスタ IN さいき」及び「海事啓発イベント」(21日)

つづく21日(月・海の日)は、9時から15時30分まで、海上自衛隊佐伯基地分遣隊グラウンド及び棧橋で、同分遣隊主催の「サマーフェスタ IN さいき」と、佐伯海事地域人材確保連携協議会主催の「海事啓発イベント」が行われます。

サマーフェスタでは、多用途支援艦「げんかい」の一般公開、陸上自衛隊の装甲機動車の試乗、装備品の展示やグッズ販売などがあります。

また、海事啓発イベントとして、巡視艇「さちかぜ」の一般公開及び体験航海を行います。体験航海については、4歳以上の方を対象とし、1航海30分程度で、午前2回、午後3回行われます。参加の受付を、当日、会場内で、午前の2回分は9時30分から、午後の3回分は正午から行います。

このほか、啓発行事として、さいきキャンペーンレディの1日海上保安官任命式、パネル展示なども行われます。

以上が、「海の日記念事業」の概要です。

2 「アローファーム大分」内覧会の開催について

「アローファーム大分」は、市内堅田で操業している「大分部品株式会社」と同じく「矢崎総業株式会社」のグループ会社であり、平成25年12月に、大分部品の農業参入部門を独立させる形で設立されました。

7月10日(木)、午後3時30分から、この「アローファーム大分」の内覧会が、矢崎総業の矢崎裕彦^{さきひろひこ}会長のご臨席のもと、現地(灘小学校跡)で開かれることになりました。

「アローファーム大分」は、市内では、青山地区と堅田地区の水田で食料米などを栽培しており、また、臼杵市野津町でも、さつまいもやニラなどの畑作を展開していますが、灘小学校跡は、その事業活動の重要拠点と位置付けられています。灘小学校については、平成22年3月に廃校となって以来、企業誘致など跡地利用策を検討してきましたが、平成25年7月から校舎跡を「大分部品」へと貸し付け、「アローファーム大分」設立に伴い、昨年末からは同社への貸付けを行っています。

今回の内覧会は、大分部品が農業分野に参入してから3年、灘小学校跡の利用開始から1年を経過したことから、一つの区切りとして、これまでの地域農業の取組状況を関係者に報告し、今後の農業事業のより一層の推進を図ることを目的としています。

市といたしましても、地域農業生産技術の集積及び高度化、地域経済活性化の点から、同社の今後の事業活動には大きな期待を寄せており、引き続き、最大限の支援を行っていきたいと考えています。

3 「第27回河川愛護デー」の実施について

本市では、昭和63年度から、市民総参加のもと、河川及びその周辺の環境美化を図るため「河川愛護デー」を実施しており、今年で27回目を迎えます。

「河川愛護デー」は、毎年、河川愛護月間である7月の第1日曜日に実施しており、今年は7月6日（日）の8時から、池船スポーツ公園を中央会場として、各地区の河川周辺で清掃活動を行います。

各振興局管内では、旧町村時代の活動を継続しており、3月から11月の間に、それぞれ独自に日程を決めて行っています。

昨年は、旧佐伯市内で約8,000人、振興局管内で約6,000人、計14,000人の参加をいただきました。今年も、多くの市民の皆様の参加をお願いいたします。

今後も、市民総参加による「河川愛護デー」を通じて環境美化意識の向上を図り、官民一体となった快適な水辺環境の創出に取り組んでまいりたいと考えております。

4 「第8回かぶとむし木登り競争大会 in なおかわ」の開催について

7月13日（日）、10時から、直川^{いこい}憩の森公園キャンプ場で、「第8回かぶとむし木登り競争大会 in なおかわ」を開催します。

この大会は、「かぶとむしの村づくり」を進めている直川地域で、平成19年から開かれている全国的にも珍しいユニークなイベントです。

大会では、事前にエントリーした出場者が持ち寄った自慢の「マイかぶとむし」が、木登りの速さを競います。毎年、観客からの熱い声援を受けたかぶとむし達がデッドヒートを繰り広げ、会場は熱気に包まれます。

このほかにも、子どもたち憧れの「オオクワガタ」が当たる「宝探しゲーム」や、ご家族全員で参加できる「〇×クイズ」、直川のご当地ヒーロー「キコレンジャー」のステージなど、盛りだくさんのプログラムを予定しています。また、生きたかぶとむしを実際に触って観察できる「かぶとむしふれあい館」も、この日に合わせてオープンします。

ご家族、お友達など、お誘い合わせの上、「かぶとむしの村・なおかわ」へ、ぜひ遊びにおいでください。